

水資源に関するシンポジウム開催について

<発表論文の募集>

会 期：昭和52年10月25日（火）～28日（金）の4日間

会 場：未定（東京都内）

参 加 費：未定

主 催：土木学会，農業土木学会，空気調和・衛生工学会，日本気象学会，日本地下水学会，日本林学会。

論文の内容：下記のような内容の論文発表に限りませんが、いまして、個々の技術論文のような発表はご遠慮下さい。

1. 水需給の長期展望

全世界，全国，各地方等における水需給の現況および長期的な水需給の見通しの結果，もしくは見通しの作成のための資料の収集，解析および評価の方法を論じたもので，次の各項のいずれかに重点をおいたもの。

- a. 自然界における水循環および水資源の評価
（降水量，雪水，蒸発散，流出量，地下水，包蔵水力，その他）
- b. 水需要の構造分析と将来予測
- c. 水資源供給量拡大の方策
（地下水涵養，人工降雨，海水淡水化，その他）
- d. 今後の政策選択
（水料金，産業配置，人口分散，需要抑制，水資源開発，その他）

2. 水資源の有効利用

水資源の有効利用の実態，方法および効果を論じたもので，次の各項のいずれかに重点をおいたもの。

- a. 既存水利の合理的利用
（各種用水の合理化（発電用水を含む），有効利用，その他）
- b. 水の再生利用
（下水処理水の再利用，産業廃水の再利用，その他）

- c. 水量管理と制御
（ダム of 統合管理，流況調整，その他）

- d. 水制度
（水利権，水配分，法制度（雑用水道，地下水），その他）

3. 水資源の利用と環境

水資源の環境の改善または保全のための利用の実態，方法および効果を論じたもの，もしくは水資源の利用に付随して生じる環境への影響の評価の手法を論じたもので，次の各項のいずれかに重点をおいたもの。

- a. 河川環境の保全と流況
（各種用水と環境との関係，水質浄化用水，地域開発と水資源，その他）
- b. 環境アセスメントの手法
（事例紹介だけのものは除く）

応募の方法：発表希望の方は題目，勤務先，発表者氏名（主催学会会員の方はその旨お書込み下さい）に400～800字の内容梗概を付けて昭和52年1月末日までに下記宛お申込み下さい。

160 東京都新宿区四谷1丁目 社団法人
土木学会内 水資源に関するシンポジウム
実行委員会

なお，応募件数により総括報告の形式をとる場合もあります。また，論文の採否は上記委員会にご一任下さい。

採択された発表者には8月末日までに指定の原稿用紙（2,000字詰）6頁以内の論文をご執筆のうえ，ご提出いただくことになります。なお，シンポジウム当日は，手書きにより提出された原稿をそのままオフセット印刷し，参加者に配布し，シンポジウム終了後，当日の討論内容を含めたファイナルレポートを印刷し，実費頒布する予定です。

月例会「長期予報・大気大循環」のお知らせ

主 題：長期予報・大気大循環
日 時：昭和52年2月24日（木）9時30分より
会 場：気象庁内
講演申込期日：12月25日（土）

申 込 先：気象庁長期予報課
（電話 03—212—8341 内線331）

荒 井 康